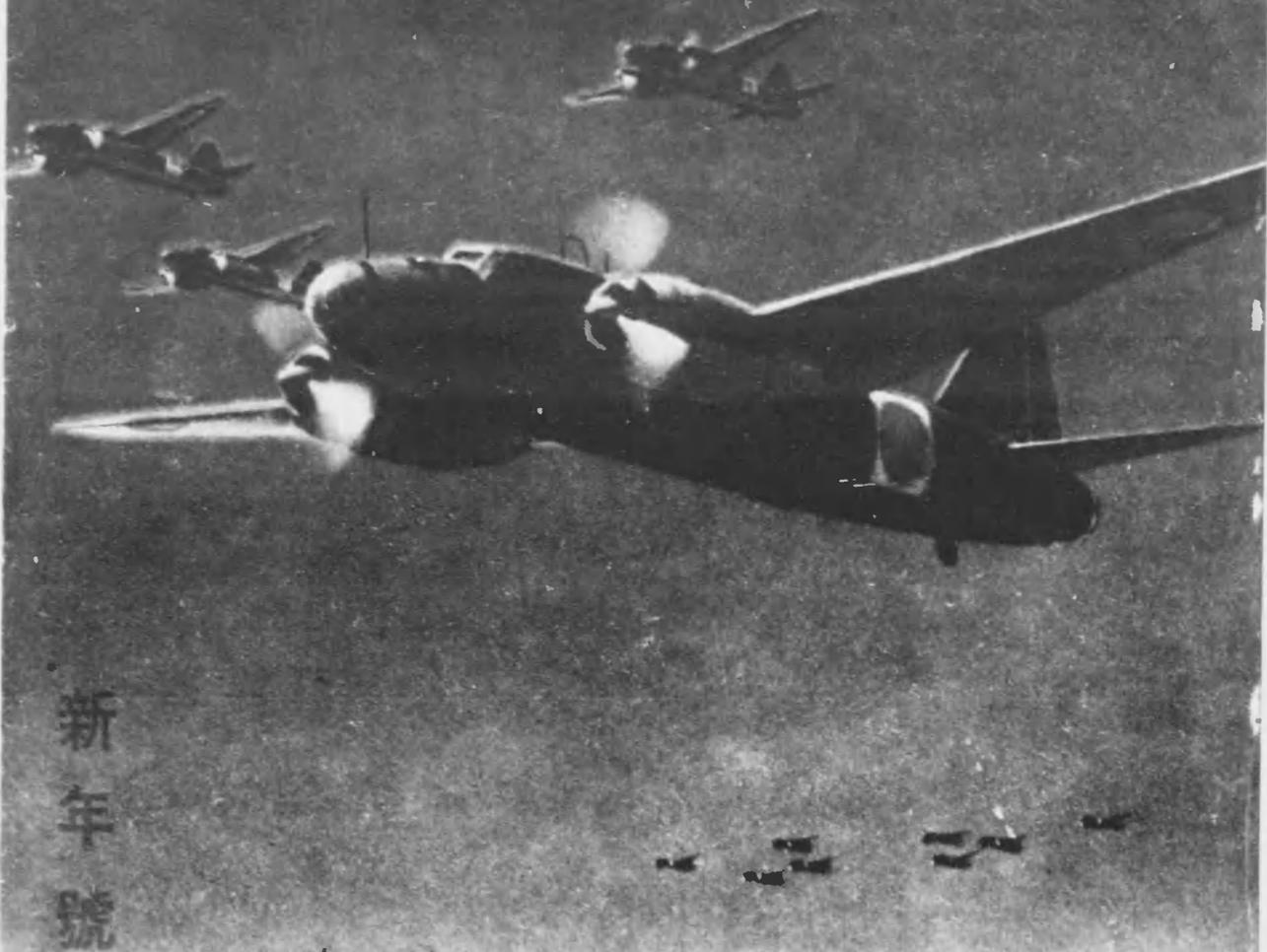


寫眞週報

情報編輯局
一月五日・第三百三十一號



新年號



寫眞
週報

情 報 局 編 輯

一 月 五 日 · 第 三 百 三 十 七 號



新
年
號



**皇太子殿下
御十二の新春を
迎へさせらる**

皇太子殿下には、御めでたくこのたび御十二の新春をお迎へあそばさされました。

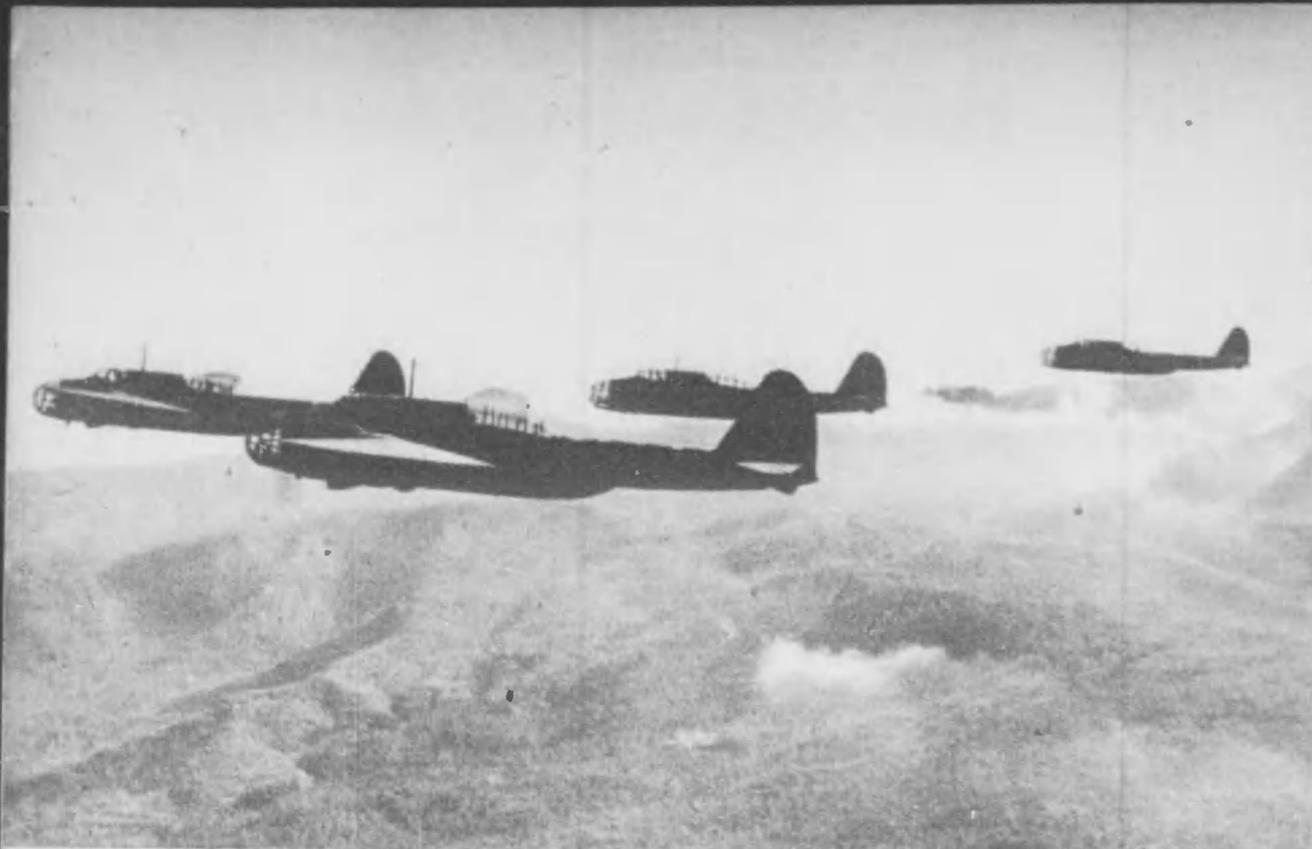
御天明の御天性とともに、日の皇子さまがいよ／＼御すこやかに御成育遊ばされますことは

天皇陛下、皇后陛下をはじめ御事りわが皇宮の上の御喜びと舞しますが、われら一億國民にとつても、限らない喜びであります。

たいまは学習院初等科第四學年に御在學の殿下には、御幼學に御體練に、また各種學校、軍醫工場など各方面の御見學に、御いそしみ遊ばされますが、殊に、複製航空機の御製作、御操作には特別の御興味を御もち遊ばされ、昨年五月一日には、長くも艦ヶ浦並びに土浦海軍航空隊に行啓、親しく海軍機に御搭乗あらせられて前線將士の勇戦を傳はせられたと漏れ承ります。

新しい年とともに、いよ／＼米英撃滅の決意を固めるわれら一億にとつても、また、アジア十億の民にとつても、日の皇子さまこそは、希望に輝く御光であらせられます。この御光がますます／＼明らかに輝きまされ給ふかぎり、戦ひの前途もいよ／＼希望にみち／＼てゆくこととありませう。

藤宮内者



き巻を塵砂にちやの風疾 はらか地甚ぬらやけ明だま
員班道程軍海口親 影機 だ撃出が驚海の殺必敵求 てげ上

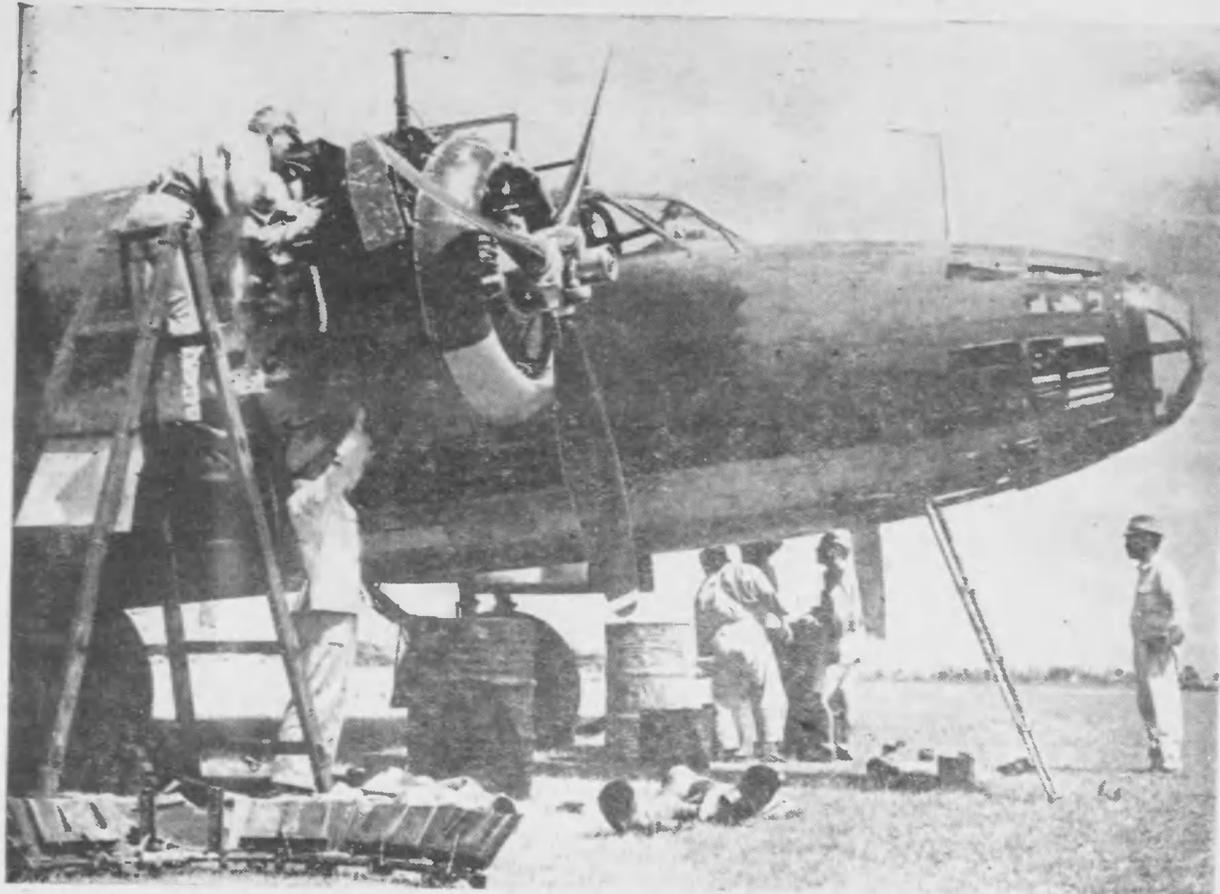


つ張を翼脚の々堂 いなもみ休も月正はに揚戦血の空
員班道程軍陸本限 影機 だ行撃揚洲液も日今は驚陸 て

す撃出々堂驚荒の海陸がわ

今年こそ反攻の敵を撃滅せん





「まはりさうに多い任務の暇には野菜をつくり豚を飼ったり、自ら自給する勇士の頼もしいところ」

「はせるを定めて——それは人知れぬ苦勞を、日夜すみなく戦ひぬいてゐる基地の地上部隊だ。敵機の襲撃に備へ一秒も目を離さない射撃隊、いかなる時でも射たんと構へる高射砲隊、連絡に、指令に、火警を散らす無電送信隊、出動用意の彈藥補給に急ぐ輸送隊、さらにはまた、針の葉のやうな被弾の痕に輝く武器を磨り、故障に激しい出動回数を示す機體の修理や整備に必死な作業隊、これらの隊の血と汗が渾然一つになつてこそ、持ちこたへる大戦果が生れる。

山の決戦場に基地を守り、天理ける陸霧に心おきなく戦はせる「はせるを定めて」の心を今年の一億の心としよ

↑ 熊本陸軍報道班員

↑ 二分でも早く、正確に細かく多い部品の整備も手分けの作業に臨んで、ガンガン照りつける日光の直射も何んその、対空監視隊の闘志は燃えて……

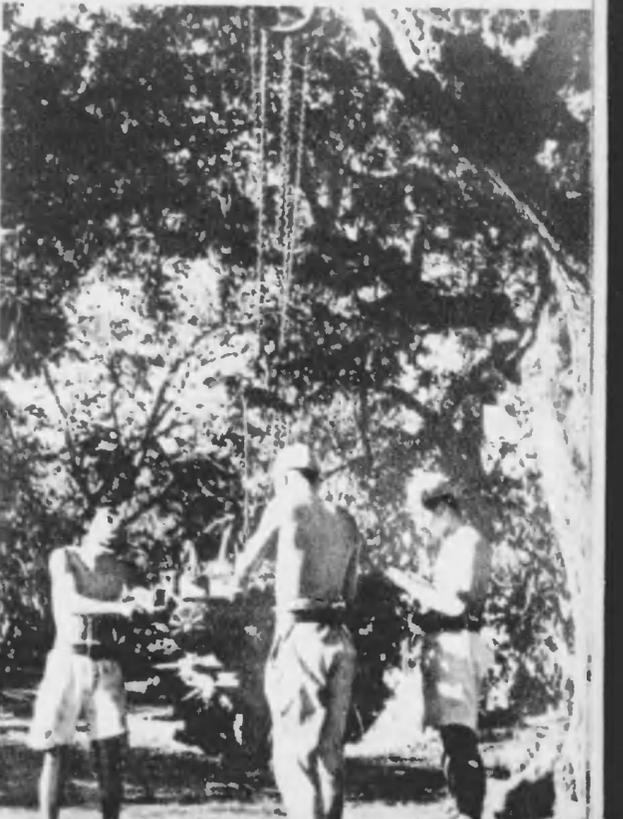


の驚るせば総 み込氣意

地基〇〇線一第方南

「こいつを敵陣のまんなかへ落してくれ」機送隊の囁きはこれだけだ

↑ 機送隊は早く陣営を飛びたせようと躍起だ





→ 幸島の小舟を二隻、三隻と大船の備出に女子青年團の活躍―埼玉新市地村

→ わが無敵鐵獅子の眼目製作に寸暇も惜しむ東京都浅草第一女子青年團の團員



↑ 學校に災難をうけて、大船の備出に寸暇も惜しむ東京都浅草第一女子青年團の團員

大日本青年會では、舊十二月八日、大東亞戦争二週年の日から、一月九日、中華民族の統一日まで、今度千五百名團員を擁して、大東亞青年團の起運を奨励し、今年こそは、地方々々の各單位の宣傳に力をつけて、上、改良や新製品の出産や、軍需品ならびに輸送力の増強等に、若い力をこめて協力することになり、

この運動は、昨年十一月、日滿華三國の青年代表によつて行はれた大東亞青年指導會議の決議に基づくもので、同じ期間中、わが國だけでなく滿華兩國でも青年の起運運動を行つてゐるのです。大東亞



⇨ 軍用品の増産に協力する埼玉新市地村少年團のヨイコトモたち



⇨ 田舎のお友達に負けるものかと、公井待瀬所の補修に一生懸命な東京府四谷第四少年團





← 敵が誇る機銃の影を、ここに負けるものかよ、計量機銃こそ大東亞の勝利だ



← 街頭に立つて、新米と人々に協和必勝の旗を掲げ、老弱と一戦でも多くを戦う



← 二十、月、日の上、朝霧をきいて黎明運動に燃せ参じた青年達の奮闘



← 満洲國 中華民國
 満洲國 中華民國
 華民統

大東亞の食糧満洲は今年大豊作
 農民の豊作供出に協力する青年
 團(満洲國)撮影 満洲國通信社

青少年の中心となつてゐる日滿青年の若人たちが、同じ日、同じ時、がっさり肩を組んで大東亞の黎明に、戦争完全の力強い雄叫びをあげてゐるので、大東亞の青少年は大東亞の力であり、大東亞の力、その大東亞青少年の中心となつてゐる日滿青年の若人は、これから後ますます、力をつけて、戦争に勝ちぬく強い力とならうではありませんか

南方の青年も起ち上つたぞ

「南方の住民は、無智で怠惰者だ」

大東亞戦争のはじまる前は、よくこんなふうにいへられたものです。これは東亞をいつまでも搾取しようとする米英蘭などが、住民を無智のままほつたらかしておいた方が無限の寶庫から資源を奪ひあけるのに、都合がよかつたからでした。その證據には、前ボルネオ總督ハガも「安らかに眠つてゐる民をわざ／＼揺り起すやうなことはしなかつた」と白状してゐるほどです。

一度、皇軍が八紘を宇とする大理想をもつて現地住民を指導するやうになつてから、住民の性質はすつかり變りました。いや、變つたのではなくて、東亞の民の誇りに目ざめたのです。教育に、勤勞に、雄々しく起ち上がつたこの青少年と手を携へて、明日の大東亞をみんな揃つて築かうではありませんか。

東亞を築くには、まづ皇主日本に學ばうと、明日のマライ情事者たちは、防具もケリとしめて、いざ南島の神古

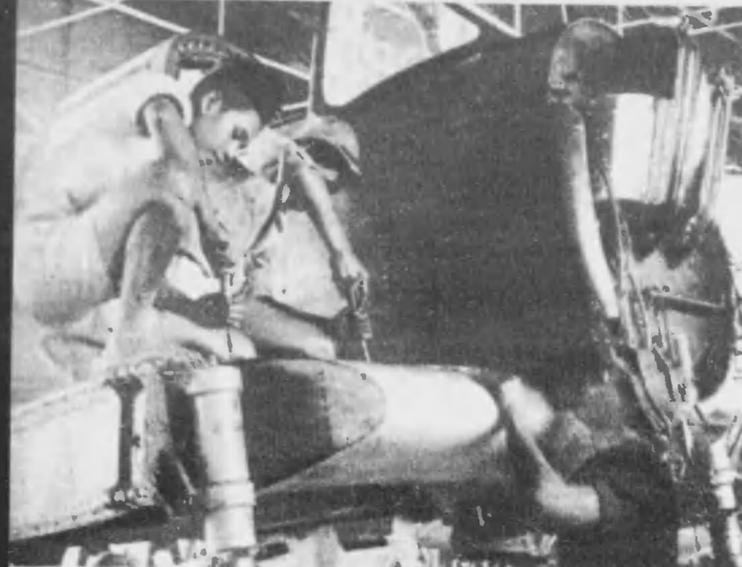
四十キを七時間で既足行進して、息切れもしない頑母しいボルネオの青年
 模範の訓練は、わが軍社にもまけないくらゐ
 撮影 同國通信社



ガタタチもお手練ひと、マライのボーイが昭南島で勤勞奉仕、働くたのしさに、白い歯をにっこりぞかせながら
 撮影 同國通信社



日本の強さは？ 講義にきゝ入るタイ島嶼所の若人は、獨立し北島の未來を誇ふだけに、敵も火と煙をる
 米住野村駐在所
 撮影 同國通信社



無智といはれたいインドネシアの少年でさへ、むづかしいわが軍社の準備を見事にしかも素早く仕上げてゆく
 模範の訓練は、わが軍社にもまけないくらゐ
 撮影 同國通信社

特に力を入れた指導をうけてゐる比島タイ訓練所の若人は、食糧自給に今日も土にまかれ、汗にまみれて……

寫眞週報 昭和十九年一月十五日 第... 郵政特准第... 昭和十九年 一月十五日 毎週 金曜日 発行



よやくあたる
弾丸切手
 一枚二円一で一等千円

第二十二回 出賣 日一月一日 ← 日十二月十五日
 抽割 増 金 率
 賞 籤 枚 八
 一等千円・二等四百円・三等五百円・四等千円
 一枚に付一枚

抽籤の済んだ切手は五枚以上まとめて郵便局へお出しの上、特別据置貯金。書引と交換して下さい。

寫眞週報
 (禁無断轉載)

昭和十九年一月十五日印刷發行

情報局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局

東京市本町一丁目

印刷局印刷發行